



つり輪で3位に入った田辺工業3年の楠川雄太選手

全国高校総体(インターハイ)の男子体操競技が24日、東京都内で団体、個人戦があり、田辺工業(田辺市あけぼの)3年の楠川雄太選手が種目別につり輪で2年連続で3位になった。団体では同校は決勝に残り、11位だった。

種目はつり輪のほか、ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒、平行棒の6種目。出場選手が各種目の演技で正確さや美しさなどを競い、個人総合や種目別の順位を決めた。

楠川選手のつり輪の得点は14・750。昨年のインターハイで出した記録や自身最高を更新したが、優勝しきはなかった。

全国 高校総体

楠川 雄太 || 25位 (82・20)
0) ▽ 筒井 宏樹 || 57位 (78・550)
5) ▽ 佐々木 倌緒 || 61位 (78・300)
位 (76・150) ▽ 長坂 明弥 (2年) || 予選落ち

た中京(岐阜県)や準優勝の市立船橋(千葉県)の選手には及ばなかった。

楠川選手は「優勝を狙っていたが、全国のレベルは高かった。悔しさはあるが、ベストは出せた」と振り返った。

団体戦には、田辺工業から楠川選手のほか、山本群(3

年)、佐々木 倌緒(2年)、筒井 宏樹(1年)の各選手が出場。予選を8位で通過したが、決勝でミスが出てしまい順位を落とした。目標にしていた「6位以内」には届かなかつた。優勝は市立船橋、準優勝は清風(大阪府)、3位は岸根(神奈川県)だった。

田辺工業から出場した選手の個人総合の結果は次の通り。敬称略。

体操 つり輪で2年連続

楠川選手(田辺)3位